

「教員になる」という想いを全力で支援します



# 未来への挑戦

令和3年度 第1号

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2021年7月20日発行

## 今号の特集記事 / 教員採用試験のための特別対策講座



4年生を対象とした「教員採用試験のための特別対策講座」の様子

若竹の伸びゆくごとく子ども等よ  
真直ぐにのぼせ身をたましひを

この短歌は、郷土の歌人「若山牧水」の代表的な歌です。筍は地表に出でから、短期間で見上げるような竹になります。それほど成長が早く、その伸び方もまっすぐです。若山牧水の思いは、教育に携わる・これから携わろうとする学生たちと同じ思いのように感じます。短歌から、子どもたちからだも心も知性もたくましくまっすぐ伸びてほしいと願う心が伝わってきます。

学生教職支援センターでは、教員採用試験のための特別講座を1年生から4年生まで計画し、実施しています。コロナウィルス感染症拡大のため行事の変更はありますが、「教職に就きたい」という学生の夢の実現に向けて、相談・支援等を行っています。

### 1～4年生を対象とした教員採用試験のための特別対策講座で力と自信をつける

学生教職支援センターでは、教育学部小幼コース学生及び国際教養学部教職課程の学生を対象として、教員採用試験のための特別対策講座を1年次後期から開設しています。1年次に(基礎Ⅰ)、2年次に(基礎Ⅱ)、3年次には(応用Ⅰ)、さらに4年次で(応用Ⅱ)等を開設し、講義や演習を行っています。



宮崎国際大学  
マスコットキャラクター  
ミック

本年度は、1年次から小学校学習指導要領及び教科等の解説書を購入し、その内容を確認し、採用試験一次対策を始めます。特に宮崎県では、学習指導要領を重視する傾向から、総則をはじめ、各教科の目標、関連法等に重点を置き指導をします。教員採用試験の中心となる内容ですから、皆真剣に受講することと期待しています。2年次の基礎Ⅱでは、各教科等の内容に入って指導がなされます。

3年次(応用Ⅰ)では専門科目や教職教養対策問題に取り組みます。本年度から「教育実習前CBT(Computer Based Testing)」を活用し、法規や教科内容などの知識を問う問題にも取り組んでいます。4年次(応用Ⅱ)では、学外講師による「特別対策講座」が本格化します。教職教養、小学校専門、中学校専門(英語)、模擬授業、英会話等の指導が毎日のように行われます。さらに、全国模試にも挑戦し、自分の力を確認します。一つ一つを丁寧に取り組むことが自信につながります。

## —教科等の指導がよいと生徒指導も充実する— 教師の授業の工夫が子どもの学力向上に！！

教員には優れた教科指導の力が求められます。児童・生徒にとってはたった一回の大切な授業です。失敗・やり直しはできません。失敗・やり直しをなくすためにも、指導力向上の研修や教材研究が重要視されます。そこで、知識とともに、知識を活用する授業力向上に取り組みます。

大学で行われる各教科教育法での学びに加えて、宮崎県教育研修センター主催の「ひなた教師塾」の第2期生として3年生・4年生が参加します。この教師塾では教科指導のポイントや模擬授業・学級経営の在り方などを学びます。

3年次後期からの学外講師を中心とした「特別対策講座」では、小学校各教科はもとより、教職教養では法規・教育時事・教育課程・教育行政・教育心理・生徒指導など幅広く丁寧に指導がなされます。学びの貴重な機会です。学生はスーツ姿で身を整え、緊張感をもって講義・演習に参加しています。

4年次になると模擬授業も本格化し、学生教職支援センターのホワイトボードは板書や授業の流れの検討に使われ、色ペンで埋め尽くされます。また、空き教室等を探しては模擬授業の練習に余念がありません。この自ら研修し、学ぶ力を来年4月からの小学校等の現場でも生かしてほしいと思います



宮崎国際大学  
マスコットキャラクター  
ミック



4年生を対象とした「教員採用試験のための特別対策講座」の様子

## 令和3年度「ひなた教師塾」年間計画 場所:宮崎県教育研修センター

1	8月 7日(土)	開講に当たって、教育公務員の使命と服務、目標設定
2	9月25日(土)	学習指導の基本を学ぼう～学習指導のポイント～
3	10月23日(土)	実際の授業から学ぼう～模擬授業等の参観～
4	11月20日(土)	特別支援教育の基本を学ぼう～学習につまずきを抱える児童生徒への支援～ 実践発表:児童への学習支援
5	12月11日(土)	演習:模擬授業にチャレンジしよう
6	1月29日(土)	実践発表:学級経営の基本を学ぼう～指導教諭の実践から～
7	2月19日(土)	子どもの現状や学校の安全について学ぼう～生徒指導、学校安全の基本～ 実践発表:生徒指導の実践
8	3月12日(土)	ひなた教師塾を振り返って～8回の学びを共有しよう～ 今後に向けて



4年生を対象とした「教員採用試験のための特別対策講座」の様子

### 4年生の学習法に学ぶ

「教員採用試験のための特別対策講座」では、「4年生の学習法に学ぶ」時間があります。7月の教員採用試験までの取組みを問題集や自作ノートなども披露し、学習ポイントや生活の仕方等を紹介します。その姿は宮崎国際大学で学んだ自信と誇りが感じられます。そして、後輩への大きなエールになります。それに耳を傾ける1年生から3年生の下級生も目をキラキラさせながら取り組む時間です。

### 保育者養成実践講座

教育学部幼保コースでは「保育者養成実践講座」を開設しています。後期からは1年生も含めて4学年で取り組み、幅広く資質向上を図っています。内容は、模擬保育、保育士就職模試試験、キャリア教育、SCOA模擬試験、保育所保育指針グループ研究・研究発表会、人権教育、講話などです。新しい幼稚園教育要領や保育所保育指針に沿った保育・幼児教育を学び、実習の充実や資質向上を目指しています。

特に、学習指導要領や保育所保育指針では幼児教育・保育と小学校教育の連携・接続を重要視しています。さらに、幼児期の教育において育みたい資質・能力(知識や技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力・人間性等)も明記され、その育てたい資質・能力は小・中・高校に受け継がれていきます。

幼児教育は「遊び」を中心に総合的に学んでいくものです。今、「主体的・対話的で深い学び」の視点から改善を図っていくことが求められています。学生たちには、子どもが自ら遊びを創り出し、遊びに没頭し、遊びを振り返る環境づくりも学んでほしいと思います。

## 令和3年度実施の教員採用選考試験一次試験が7月10日(土)に行われました

今年の4年生は3年次の早い時期からそれぞれの夢に向けて頑張ってきました。卒業生の後ろ姿を追い、話を聞き、自分の道を切り開いてきました。周りの助言・激励にも素直に耳を傾け頑張ってきました。土曜日・日曜日遅くまで灯りが点いている「スプーン」で黙々と頑張っている姿は宮崎県や九州各県等の教員としての自覚が感じられました。そのような中、令和3年7月10日(土)に宮崎県及び九州各県の公立学校教員採用選考試験が行われました。4年生の感想を紹介します。

### 【試験前の思い】

- 私は教員採用試験一次試験の前日の寝る前まで、緊張と不安で押しつぶされそうでした。覚えただけなのに、再度解いてみると忘れていたり、自分がやっていないことを他の人が勉強しているのを見たりすると、とても焦りを感じたことを鮮明に覚えています。
- 誰でも「緊張」「不安」「焦り」は感じるものです。そのため、私は「緊張や不安、焦りは私だけが感じているのではない。みんなも感じているのだ」と思うようにしました。また、先生方をはじめ、卒業した先輩や後輩、同級生が「頑張れ」と応援してくださっていたので、心強かったです。目の前のことを確実にこなすことで自信に繋がりました。
- 緊張・不安・焦りしかありませんでした。毎日勉強してきていても、試験一週間前になると、本当にこれでいいのかと不安で眠れなかつたり泣いたりすることが多々ありました。そんな時、支えになったのは、家族と毎日一緒に勉強した仲間でした。
- 試験前は、本当にこれでいいのかなど不安もあったが、自分がやってきたことを信じて、頑張るしかないという思いで最後まで勉強を頑張った。「自分はたくさん勉強してきた!」「やれるだけのことはやった!」と自分に言い聞かせ、試験に臨んだ。
- 最後まで頑張れたのは周りの仲間のおかげです。全員が場を乱さない雰囲気づくりをすることは本当に大切だと思います。周りの仲間と一緒に勉強を頑張ってくれたのが私の支えでした。また、後輩の応援や気を使ってくれた配慮があったこともとても支えられました。

### 【後輩たちへのアドバイス】

- 早めに自分に合った参考書・勉強法を見つけてほしい。また、勉強する仲間を見つけてください。
- 一次試験勉強は早くから取り組んでほしい。対策講座だけでは足りません。ひたすら声に出して、書いてと繰り返すしか身につけません。量も膨大です。覚えれば誰でも点数が取れます。
- 計画的に勉強すること。採用試験勉強をしない日を作らないこと。「やめたい」「つらい」「教師にむいているのかな」などの負の感情に襲われる。その感情に負けないこと。
- 最後まで諦めなければ、必ず自信は必ず付いてきます。私は、教員採用試験に向けて勉強している際に、何度も「やめたい」「つらい」「教師に向いているのかな」などの負の感情に襲われました。しかし、勉強を毎日続け、教員採用試験を受ける仲間と語り合い、支え合うことで最後まで諦めずに勉強を続けることができました。諦めそうになったら、仲間や先生方、家族にその気持ちを吐き出してください。吐き出すだけで、気持ちが楽になり、勉強に再度取り組むことができます。